



# システム開発で障がい者支援

有限会社奥進システム

代表取締役 奥脇学さん

大手企業でのシステムエンジニアを経て、システム開発会社として2000年に起業。企業の立場から障がい者の就労問題にかかわっている。



私たちはインターネットを使ったシステム開発を専門とし、中小企業向けの業務管理システムの受託開発を中心に

行っています。その強みを生かした社会貢献がしたいと、障がい者の就労支援や、福祉関連サービスのシステム開発にも力を入れています。

ネットの普及で、場所や時間の制約を受けずに働けるはずだと、起業当初から、家庭の事情や障がいがあるために、意欲や能力はあるのに働くことが難しい人を積極的に雇用してきました。

現在社員7人のうち5人が障がい者。2人がひとり親家庭の母親です。オフィスのバリアフリー化や在宅勤務制度

など、共に働ける環境を作り上げてきました。

発達障がい児のためのサポートツールを販売するネットショップの運営や、インターネットでサポートブックを作成・保存・共有する「うえぶサポート」の無料提供も行っています。

サポートブックとは、自閉症・発達障がいなどがある人の特性やパニック時の対処法などを、支援する人に伝えて、誰からも同じ支援が受けられるようにするものです。

昨年7月には、精神・発達障がい者の就労支援システム「SPIS」を開発、提供を始めました。障がい者の就労支援機関と連携し、自社で働く

精神障がい者の雇用継続のノウハウをシステム化。職場での精神障がい者の状態を見える化し、必要な支援が何かを分かりやすくするものです。

精神障がい者の就労希望件数は増加していますが、企業は雇用に消極的です。このシステムを標準的な支援方法として確立することで、雇用のハードルを低くし、定着を促進したいと考えています。

「私たちと、私たちに関わる人たちが、とてもしあわせと思える社会づくりをめざします」。この理念に基づき、今後も、これまでの活動を通じて培った福祉施設やNPOとのネットワークを生かして、社会課題を解決していきたいです。

## 企業と就活生の出会いをつくるマガジン

シーズクリエイトは他企業と協働し、若者の働く価値観を変える「ミライ企業プロジェクト」の一環として、大学生の大企業思考からの脱却を促すキャリアマガジン「レディ」準備号を9月24日に発刊します。レディは大阪府を中心に、関西圏20大学で配布されます。

大学生新卒の3年以内の離職率は約30%で、雇用のミスマッチ問題が指摘されています。現在の就職活動と離職状況をつくってきた一つの要因は書面情報先行の採用方式です。この方法で確かに採用活動の効率は上がりますが、採用とは人と人で行うものです。レディはその原点に立ち返り、コミュニケーションの場をつくることを大切に、中小企業と自分の可能性を伸ばすことを希望する大学生のマッチングを応援します。掲載企業の選定を独自の審



学生記者による掲載企業の取材風景

査基準で行い、収益性や経営理念、人材育成力など、5つの審査項目を満たす企業を8社掲載します。誌面に掲載する記事は、就職する学生側の視線を大切にするため、現役の大学生が取材し、記事にしています。選考では職場体験や交流会を必須にして、雇用のミスマッチを解消します。

就活生だけでなく早くからキャリアについて考える機会づくりのため、1回生からのインターンシップも募集しています。

●問い合わせ：株式会社シーズクリエイト(CSR室)  
電話：06-48001-8200  
E-mail: csr@seeds-c.co.jp